

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業423社を対象に実施し、353社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成21年1月～3月の実績、平成21年4月～6月の見込み、平成21年7月～9月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成21年3月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	199□	167□	83.9%□
非 製 造 業	224□	186□	83.0%□
計	423	353	83.5%

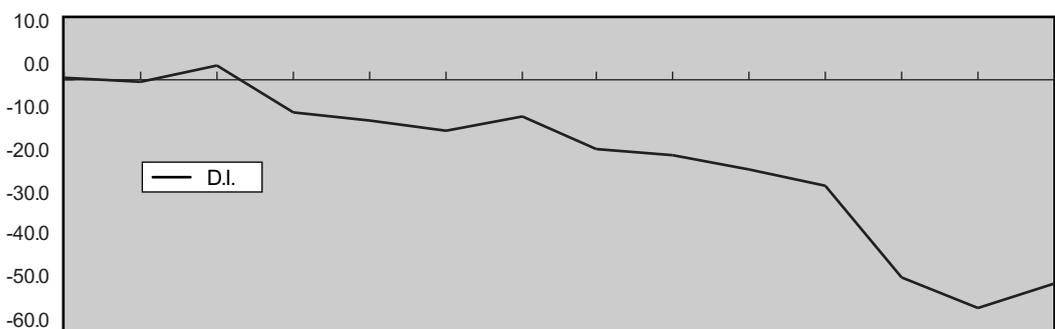
日銀が5月15日に公表した、北陸の金融経済月報(2009年5月)によると、「北陸の景気は、悪化している。最終需要をみると、設備投資は大幅に減少している。また、個人消費は雇用・所得環境が一段と厳しさを増している中で、広範に弱まっているほか、住宅投資も減少が続いている。この間、輸出は減少テンポが穏やかになっている。また、公共投資は北陸新幹線関連工事の大口発注がみられたことから、足もとは増加している。企業収益は、海外経済の悪化などを背景に減益傾向が続いている。こうしたなか、雇用所得は、一段と厳しさを増している。先行きは、内需は引き続き弱まっていく一方で、内外の在庫調整の進展等を背景に、輸出・生産は減少に歯止めがかかっていくと予想される。」と現在の状況を発表している。

I. 企業概況

企業概況の推移…… (全産業)

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良 い	19.7□	18.3	20.9	17.6□	13.4	13.6	14.6	12.6	12.9	8.4	9.4	4.4	2.4	3.3
普 通	61.3	62.9	61.8	57.4□	63.5	61.1	62.3	58.4	56.6	62.2	56.3	44.7	41.6	45.2
悪 い	19.1	18.8	17.2	25.0□	23.0	25.3	23.1	29.0	30.5	29.4	34.4	50.9	56.0	51.5
D . I .	0.5	-0.5	3.7	-7.4	-9.6	-11.8	-8.5	-16.4	-17.6	-21.0	-25.0	-46.5	-53.6	-48.2

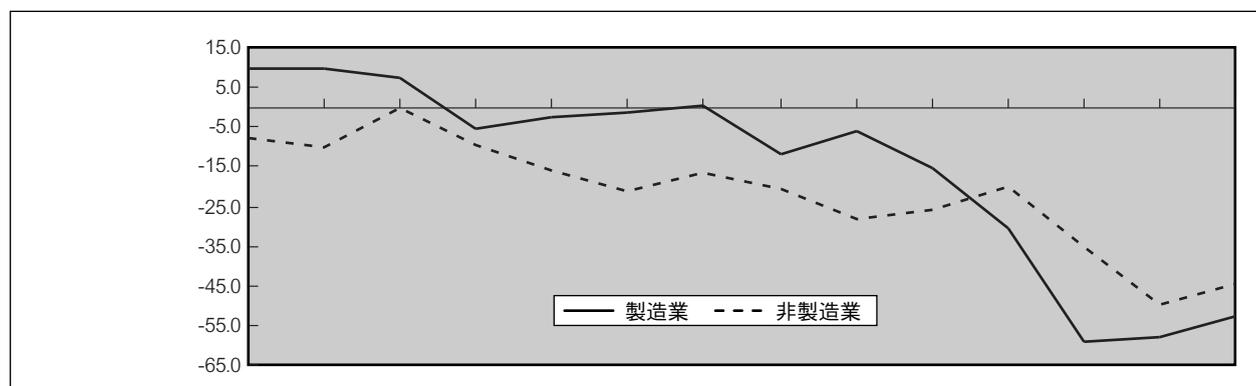


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		18年			19年				20年				21年		
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	25.7	24.5	22.4	18.1	16.7	20.0	19.9	14.6	16.3	10.2	8.4	2.6	2.6	3.2
普	通	58.6	60.9	62.8	58.5	64.0	58.9	60.8	59.1	61.2	64.1	52.6	35.5	36.6	40.9
悪	い	15.7	14.6	14.8	23.4	19.4	21.1	19.4	26.3	22.5	25.7	39.0	61.9	60.8	55.8
D. I.		9.9	9.9	7.7	-5.3	-2.7	-1.1	0.5	-11.7	-6.2	-15.6	-30.5	-59.4	-58.2	-52.6

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		18年			19年				20年				21年		
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	14.3	12.6	19.5	17.1	10.5	7.8	9.8	10.8	9.7	6.7	10.2	6.0	2.2	3.3
普	通	63.6	64.7	61.0	56.5	63.2	63.1	63.7	57.7	52.2	60.6	59.6	52.5	45.9	48.9
悪	い	22.1	22.7	19.5	26.4	26.3	29.1	26.5	31.4	38.2	32.8	30.1	41.5	51.9	47.8
D. I.		-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-15.8	-21.4	-16.7	-20.6	-28.5	-26.1	-19.9	-35.5	-49.7	-44.5



(1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の21年1～3月期実績は▲46.5と前期比21.5ポイント悪化した。先行きについて、21年4～6月期のD.I.は、更に悪化見込の▲53.6となっている。21年7月～9月の予想では、D.I.は▲48.2とやや改善となるが厳しい予想となっている。今期のD.I.は昭和53年3月調査後最低のポイントとなった。過去最低は平成10年3月▲41.6ポイントになったことがある。□

(2) 業況判断指数D.I.の21年1～3月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より28.9ポイント悪化し、▲59.4となった。先行きも悪い状況の回答となった。非製造業については、今期は15.6ポイント悪化し、▲35.5となった。先行きに対して、21年4～6月は▲49.7と更に悪化予想となっている。7～9月期はややマイナス幅が縮小する予測となっている。

Ⅱ. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	35.0	33.8	36.0	31.6	28.5	26.0	31.5	30.1	26.5	26.0	18.5	11.8	7.1	6.2
横ばい	44.3	44.4	42.1	40.7	41.7	42.2	40.4	39.2	41.2	40.9	35.4	28.0	30.4	36.9
減少	20.8	21.8	21.9	27.7	29.8	31.8	28.2	30.7	31.6	33.1	46.1	60.2	62.5	57.0
D. I.	14.2	11.9	14.1	3.9	-1.2	-5.9	3.3	-0.5	-5.7	-7.1	-27.6	-48.4	-55.5	-50.7

売上高状況（うち製造業のみ）

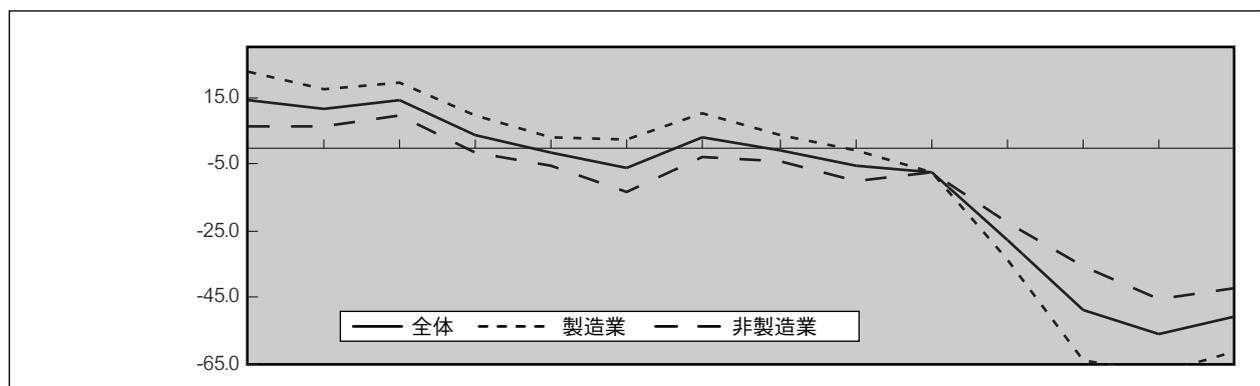
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	39.2	38.0	39.9	34.7	31.6	31.0	36.5	34.0	30.6	28.6	17.1	7.8	6.4	3.9
横ばい	44.5	41.7	39.4	40.5	40.0	40.2	37.1	3.5	37.8	35.7	32.2	20.6	19.4	31.0
減少	16.2	20.3	20.7	24.8	28.5	28.8	26.3	30.4	31.7	35.7	50.7	71.6	74.2	65.2
D. I.	23.0	17.7	19.2	10.0	3.2	2.2	10.2	3.5	-1.1	-7.1	-33.6	-63.9	-67.7	-61.3

売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	31.2	29.8	32.4	28.9	25.8	21.4	26.9	26.8	22.8	23.6	19.8	15.2	7.6	8.2
横ばい	44.0	46.9	44.6	40.8	43.2	43.9	43.3	42.3	44.4	45.6	38.3	34.2	39.7	41.8
減少	24.8	23.2	23.0	30.3	31.0	34.6	29.8	30.9	32.8	30.8	41.9	50.5	52.7	50.0
D. I.	6.4	6.6	9.4	-1.4	-5.2	-13.2	-2.9	-4.1	-10.1	-7.1	-22.2	-35.3	-45.1	-41.8



- 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、前期より20.8ポイント悪化し▲48.4と最低ポイントとなった。先行きについても、更に悪化予想となっており、D.I.は▲50を上回る悪化ポイントとなっている。売上げは増加するとの回答は、まだ少ない。
- 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けても両方とも大幅な悪化となっている。製造業は前期比30.3ポイント悪化し、最低悪化ポイントを更新している。非製造業のD.I.も、前期より悪化となっている。先行きの業種別でもどの業種も改善は見込めず、悪化見込となっている。特に製造業のマイナスポイントが高くなっている。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

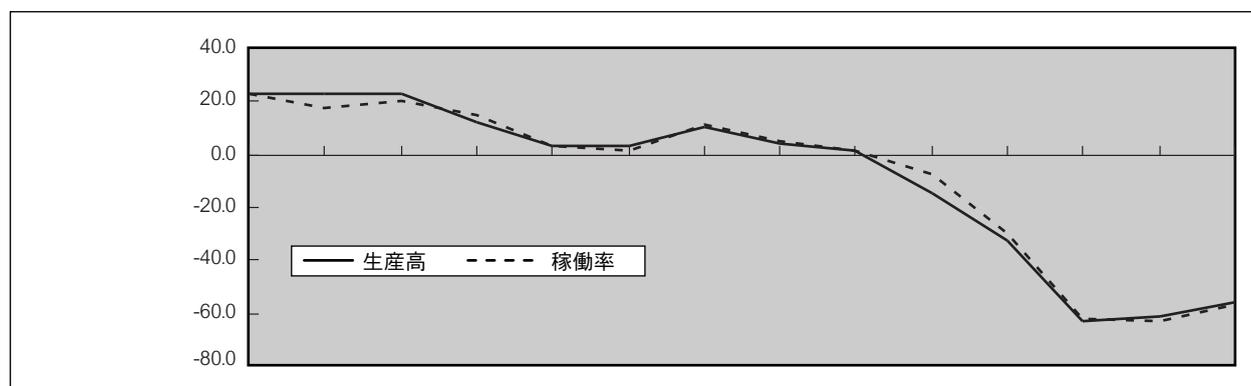
(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年			20 年			21 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
20%以上増加	7.6	10.7	8.4	6.5	4.4	8.1	7.9	4.4	5.9	1.8	1.9	1.3	1.3	0.7
20%未満増加	32.1	28.3	31.6	27.2	26.4	21.4	27.5	28.8	24.1	21.2	14.6	5.9	7.2	6.5
横ばい状況	44.0	44.9	42.6	45.1	41.8	43.9	39.9	38.1	41.2	39.4	34.8	22.9	22.2	30.1
20%未満減少	13.6	14.4	17.4	19.0	24.2	23.1	21.3	25.6	26.5	30.3	35.4	33.3	36.6	32.0
20%以上減少	2.7	1.6	0.0	2.2	3.3	3.5	3.4	3.1	2.4	7.3	13.3	36.6	3.3	30.7
D . I .	23.4	23.0	22.6	12.5	3.3	2.9	10.7	4.4	1.2	-14.5	-32.3	-62.7	-60.8	-55.6

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年			20 年			21 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
上 昇	8.2	9.3	5.9	5.1	5.6	5.9	6.9	4.6	7.2	2.6	1.9	0.7	0.7	0.7
やや上昇	28.4	25.1	31.2	28.2	20.8	18.9	25.3	27.8	21.7	19.9	13.5	5.4	5.3	4.8
横ばい	49.7	49.2	46.2	48.6	50.6	52.1	47.1	40.4	43.4	47.4	39.1	26.2	25.3	32.0
やや下降	11.5	15.8	16.7	16.9	20.8	18.3	17.8	23.8	25.3	24.4	30.1	30.2	34.0	28.6
下 降	2.2	0.5	0.0	1.1	2.2	4.7	2.9	3.3	2.4	5.8	15.4	37.6	34.7	34.0
D . I .	23.0	18.0	20.4	15.3	3.4	1.8	11.5	5.3	1.2	-7.7	-30.1	-61.7	-62.7	-57.1



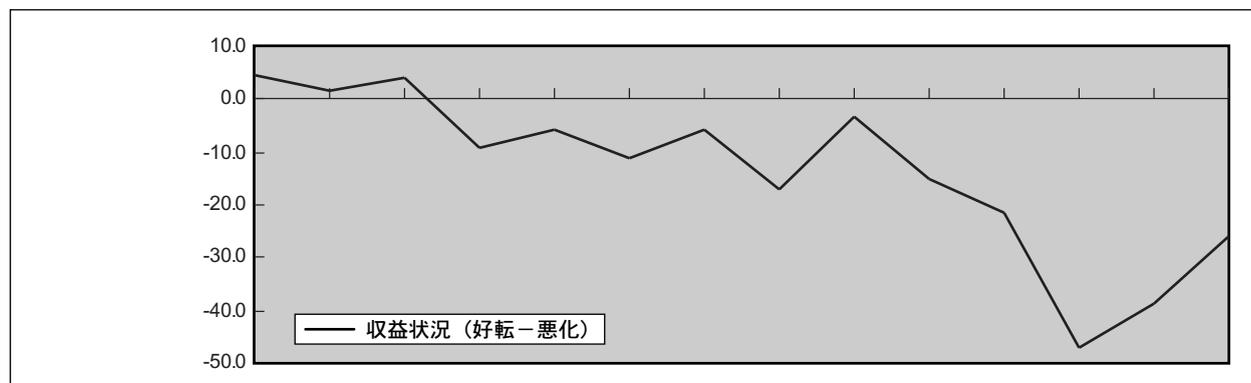
- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.Iは、過去の最低ポイントを更新し、▲62.7となった。先行きについても、生産高は減少のまま推移の予想となっている。
- (2) 稼働率状況D.Iも、生産高状況D.I同様前期比悪化の回答となった。前期比31.6ポイント悪化し、D.Iは▲61.7となった。先行きについても21年4～6月期は▲62.7、7～9月期は▲57.1と稼働率増加を見込めないと予想している。まだ、生産調整等を行っている企業があると考えられる。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	16.1	20.1	12.7	12.7	5.6	6.5	9.4
横 ば い	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	50.8	56.5	59.5	52.8	41.9	48.4	55.3
悪 化	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	33.1	23.4	27.7	34.5	52.5	45.1	35.3
D . I .	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-16.9	-3.3	-15.0	-21.7	-46.9	-38.6	-25.9



好転理由

(%) 見込 予測

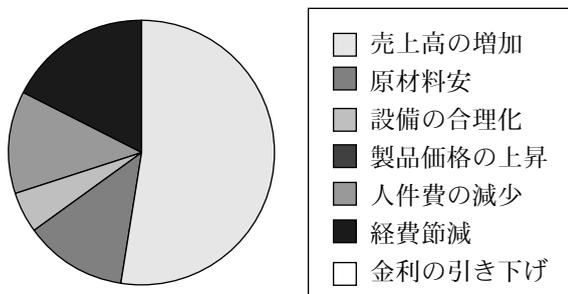
期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の増加	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	58.9	57.0	65.1	64.3	52.5	39.1	48.0
原 材 料 安	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	2.2	0.9	4.8	14.3	12.5	15.2	16.0
設備の合理化	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	2.2	1.9	0.0	1.8	5.0	4.3	4.0
製品価格の上昇	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	14.4	17.8	11.1	5.4	0.0	2.2	0.0
人件費の減少	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	5.6	6.5	3.2	1.8	12.5	13.0	10.0
経 費 節 減	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	13.3	15.9	12.7	12.5	17.5	26.1	20.0
金利の引き下げ	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	3.3	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	2.0

悪化理由

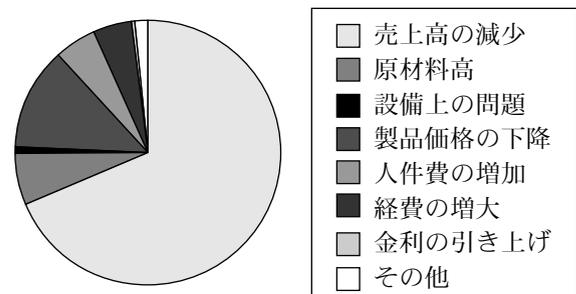
(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の減少	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	53.0	46.2	43.3	60.6	68.6	66.8	63.3
原 材 料 高	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	29.2	31.7	30.4	14.3	6.3	7.5	8.2
設備上の問題	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.0	0.0	1.8	0.0	0.8	1.3	0.5
製品価格の下降	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	4.8	4.8	8.2	11.4	12.5	11.1	12.2
経 費 の 増 大	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	5.4	9.0	9.4	6.9	5.1	5.8	6.6
人件費の増加	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.4	4.8	4.1	4.0	4.7	4.4	5.1
金利の引き上げ	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	1.4	0.6	0.0	0.4	0.4	0.5
そ の 他	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	1.8	2.1	2.3	2.9	1.6	2.7	3.6

好転理由



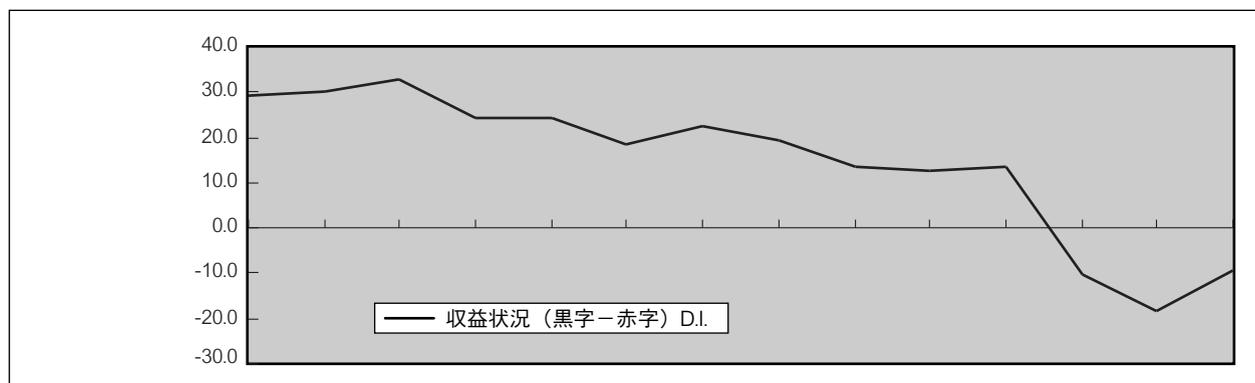
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲46.9と前期比25.2ポイント悪化した。D.I.は最低ポイントとなり、収益状況の厳しい様子がうかがわれる。先行きでは、ポイントはマイナス状態ではあるが、マイナスが改善する予想となっている。
- (2) 今期収益が好転したとの回答からの好転理由は、「売上高の増加」「原材料安」と前期同様の回答であるが、回答のポイントは減少している。先行きについても、好転理由も同様であり、また経費削減とする理由が増加している。
- (3) 収益が悪化した理由は、「売上高の減少」「製品価格の下降」が高いポイントとなっている。「売上高の減少」は68.6%と過去最高となった。「製品価格の下降」を理由とするポイントも高くなってきている。先行きについても、今期と同じ理由のポイントが高くなっている。売上げの減少に歯止めがかからない企業が増加していると考えられる。

収益状況（黒字－償却後赤字）

期別 種別	18 年												19 年			20 年				21 年																																									
	4～6月			7～9月			10～12月			1～3月			4～6月			7～9月			10～12月			1～3月			4～6月			7～9月																																	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月																																																							
黒 字	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	39.1	34.7	34.3	36.6	25.0	18.2	19.3	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	41.3	44.1	44.1	40.4	39.6	45.5	52.1	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	19.7	21.2	21.6	23.0	35.4	36.3	28.6	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	19.4	13.5	12.7	13.6	-10.4	-18.2	-9.2					
収支トントン																																																													
償却後赤字																																																													
D . I .																																																													



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、今期よりマイナスポイントとなった。前期は、やや改善した回答となっていたが、今期24ポイント悪化し、▲10.4となった。先行きについても、更に悪化予想となっている。21年4～6月期D.I.は▲18.2と今期より7.8ポイント悪化の回答となっている。先行きの回答には、収支トントンとの回答も増加しているが、黒字との回答は前年に比べ半減している。今期もまだ収益確保が厳しい様子がうかがわれる回答となっている。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	3.6	3.9	3.6	2.4	2.8	4.4	1.6	1.7	2.7	3.3	1.5	1.5	2.2	2.6
適正	83.8	85.5	86.4	84.9	84.9	82.6	85.5	86.3	86.2	85.1	86.0	78.0	80.3	81.6
過剰	12.6	10.6	10.0	12.7	12.3	13.1	12.9	11.9	11.1	11.6	12.5	20.5	17.5	15.8
D. I.	-9.0	-6.6	-6.4	-10.3	-9.5	-8.7	-11.3	-10.2	-8.4	-8.3	-11.1	-19.0	-15.2	-13.2

製品在庫水準（うち製造業のみ）

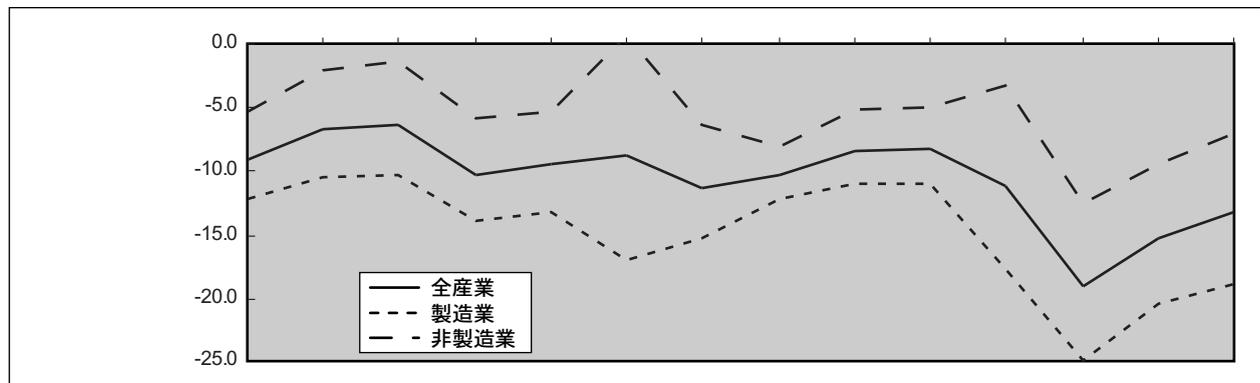
(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	3.9	3.3	3.7	1.1	2.3	2.3	1.1	1.3	1.2	2.6	1.4	0.7	1.4	2.1
適正	80.1	83.0	82.4	83.9	82.3	78.5	82.4	85.3	86.6	84.0	79.7	73.8	76.9	77.1
過剰	16.0	13.7	13.9	15.0	15.4	19.2	16.5	13.5	12.2	13.5	18.9	25.5	21.7	20.8
D. I.	-12.2	-10.4	-10.2	-13.9	-13.1	-16.9	-15.3	-12.2	-11.0	-10.9	-17.6	-24.8	-20.3	-18.8

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不足	3.3	4.7	3.5	4.0	3.3	6.7	2.1	2.2	4.5	4.2	1.6	2.3	3.2	3.1
適正	88.2	88.6	91.6	86.1	88.0	87.2	89.4	87.6	85.8	86.7	93.5	82.8	84.1	86.7
過剰	8.6	6.7	4.9	9.9	8.7	6.0	8.5	10.2	9.7	9.2	4.9	14.8	12.7	10.2
D. I.	-5.3	-2.0	-1.4	-5.9	-5.3	0.7	-6.3	-8.0	-5.2	-5.0	-3.3	-12.5	-9.5	-7.0



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足－過剰」D.I.は、21年1～3月期は▲19.0となり、前期比7.9ポイント悪化し、過剰感が高くなっている。先行きについては、在庫水準はやや改善見込となっている。しかし、マイナスポイントは高く推移している。業種別では、製造業が▲24.8と過去最も高いポイントとなっている。
- (2) 21年1～3月期、業種別では、不動産、高岡銅器、木材業が過剰感が高い回答となっている。前期高い回答であった機械工業、電子部品製造はややポイントは低下したが、まだ過剰との回答が多い。先行きについても同じ業種で過剰感が高い回答となっている。

VI. 設備投資動向

設備投資の有無

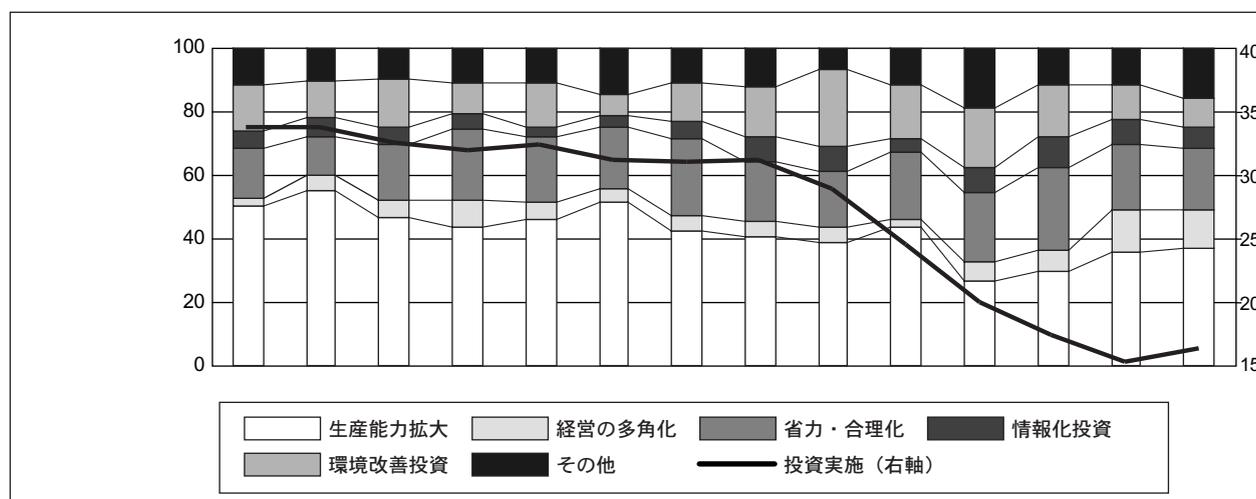
(%) 見込 予測

種別	18年			19年				20年				21年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
	投資実施	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	30.9	31.1	28.8	24.4	19.8	17.3	15.1
投資せず	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	69.1	68.8	71.2	75.6	80.2	82.7	84.9	83.8

設備投資の目的（実施先について）

(%)

生産能力拡大	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	51.6	42.6	40.4	38.7	43.5	26.6	29.5	35.8	36.8
経営の多角化	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	4.1	4.9	5.3	4.7	2.4	6.3	6.6	13.2	12.3
省力・合理化	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	19.7	23.8	18.4	17.9	21.2	21.9	26.2	20.8	19.3
情報化投資	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	3.3	5.7	7.9	7.5	4.7	7.8	9.8	7.5	7.0
環境改善投資	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	6.6	12.3	15.8	24.5	16.5	18.8	16.4	11.3	8.8
その他	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	14.8	10.7	12.3	6.6	11.8	18.8	11.5	11.3	15.8



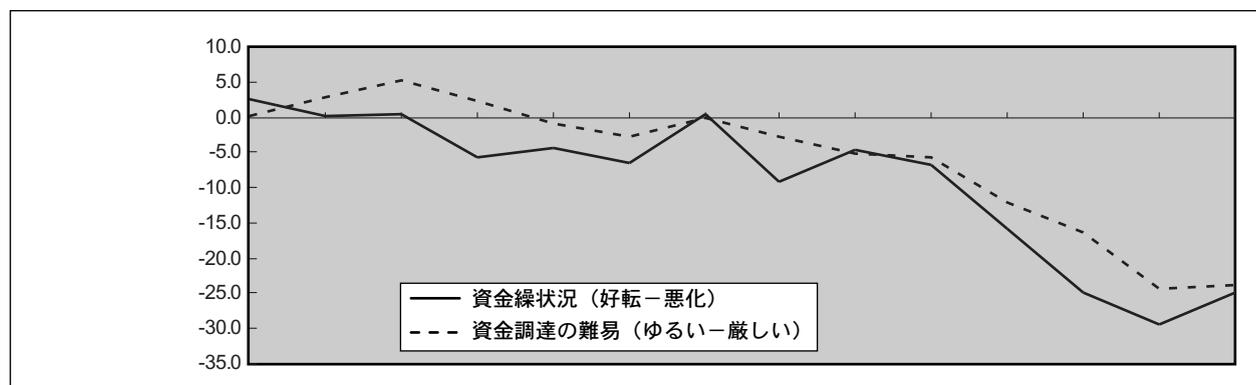
- (1) 21年1～3月に設備投資を実施した企業は全産業の17.3%と、実施企業は減少している。先行きについても、減少見込であり、21年4～6月は15.1%と更に減少する見込である。製造業では19.2%、非製造業15.6%が設備投資を行っている。21年1～3月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が29.5%次に省力・合理化が26.2%と高いポイントとなった。順位は前回と同じとなっている。
- (2) 先行き設備投資を予定している企業は、15.1%と今期より減少見込である。設備投資の目的は、生産能力の拡大、省力・合理化が多くなっている。21年1～3月期において設備投資実施企業の割合が高かった業種は、繊維、電子部品製造、窯業土石であった。先行きでも設備をする企業が減少しているなか、繊維、電子部品製造が設備を予定しているポイントが高い。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	10.8	9.2	11.0	8.1	6.8	5.9	10.4	7.4	8.5	6.0	4.4	5.0	3.2	3.8
変 わ ら ず	80.9	81.9	78.4	78.1	82.0	81.7	79.6	76.0	78.4	81.0	75.5	65.0	64.0	67.6
悪 化	8.3	8.9	10.5	13.8	11.3	12.4	9.9	16.7	13.2	12.9	20.1	30.0	32.7	28.6
D . I .	2.5	0.2	0.5	-5.7	-4.5	-6.4	0.5	-9.3	-4.7	-6.9	-15.7	-25.0	-29.5	-24.8



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
ゆ る い	11.5	13.2	13.8	13.6	11.6	10.6	10.4	12.2	7.9	7.5	5.9	4.4	4.5	4.5
厳 しく ない	77.3	76.3	77.8	75.0	76.1	76.0	79.3	72.8	79.0	79.3	75.9	74.9	66.8	67.3
厳 し い	11.2	10.4	8.5	11.4	12.3	13.4	10.4	15.0	13.1	13.2	18.1	20.7	28.8	28.3
D . I .	0.2	2.8	5.3	2.2	-0.8	-2.8	0.0	-2.8	-5.2	-5.7	-12.2	-16.3	-24.3	-23.8

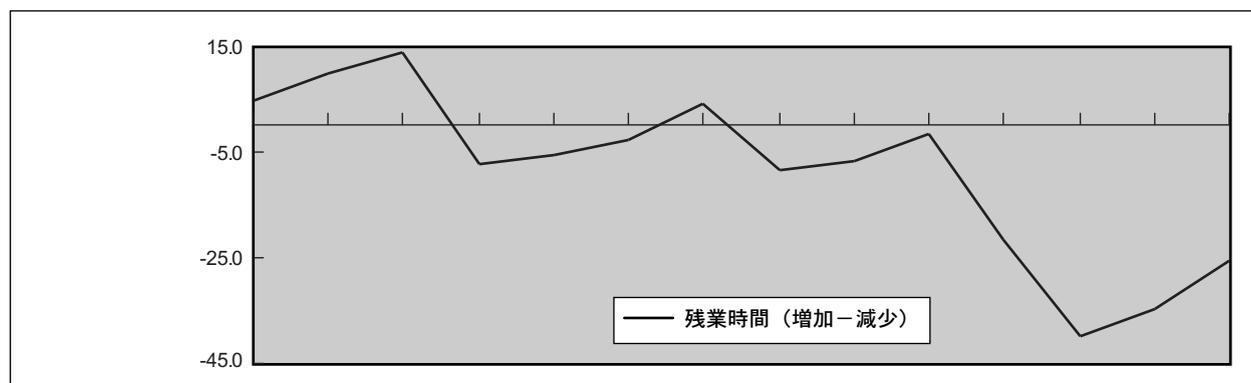
- 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は21年1～3月は▲25.0となり、前期比9.3ポイント悪化した。先行きについては、更に悪化見込となっている。企業の資金繰りに苦慮している様子がうかがわれる。
- 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」においても、▲16.3と前期比4.1ポイント悪化している。先行きについてもポイントは悪化見込となっており、資金調達の厳しい状況がうかがわれる。業種別では、繊維、窯業土石、不動産がマイナスD.I.が高く、厳しいとの回答が多い。

VIII. 労務事情

残業時間

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	19.4	17.2	22.5	15.6	14.0	15.1	18.7	14.3	12.4	17.6	10.0	6.5	4.2	6.1
横ばい	66.2	75.3	68.7	61.3	66.6	67.2	67.0	63.1	68.4	63.4	58.5	47.4	57.0	61.9
減少	14.4	7.5	8.8	23.1	19.5	17.7	14.4	22.5	19.2	19.0	31.6	46.1	38.8	31.9
D.I.	5.0	9.6	13.7	-7.5	-5.5	-2.5	4.3	-8.2	-6.8	-1.4	-21.6	-39.6	-34.6	-25.8

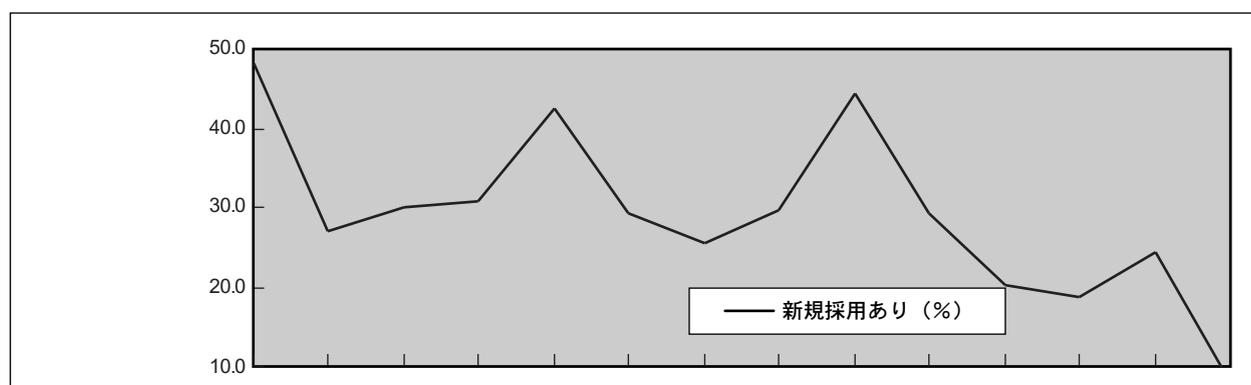


- (1) 残業時間D.Iは▲39.6となり、前期比18ポイント改善され、残業の減少している企業が多い。先行きについても、減少とするポイントが高く、残業時間は減少する見込となっている。製造業の生産高・稼働率の減少により、残業時間も減少している。先行きでは、自動車販売、出版印刷紙加工業が残業時間増加を予想している。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

(%) 見込 予測

期別 種別	18 年			19 年				20 年				21 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
全産業	48.2	26.9	29.9	30.6	42.5	29.2	25.6	29.7	44.5	29.3	20.1	18.6	24.3	8.1
(うち製造業)	44.5	25.9	29.9	28.1	41.6	25.4	27.7	30.9	43.2	30.6	18.0	15.0	25.0	5.3
(うち非製造業)	51.5	27.8	30.0	32.7	43.3	32.5	23.7	28.7	45.7	28.1	22.0	21.5	23.6	10.5

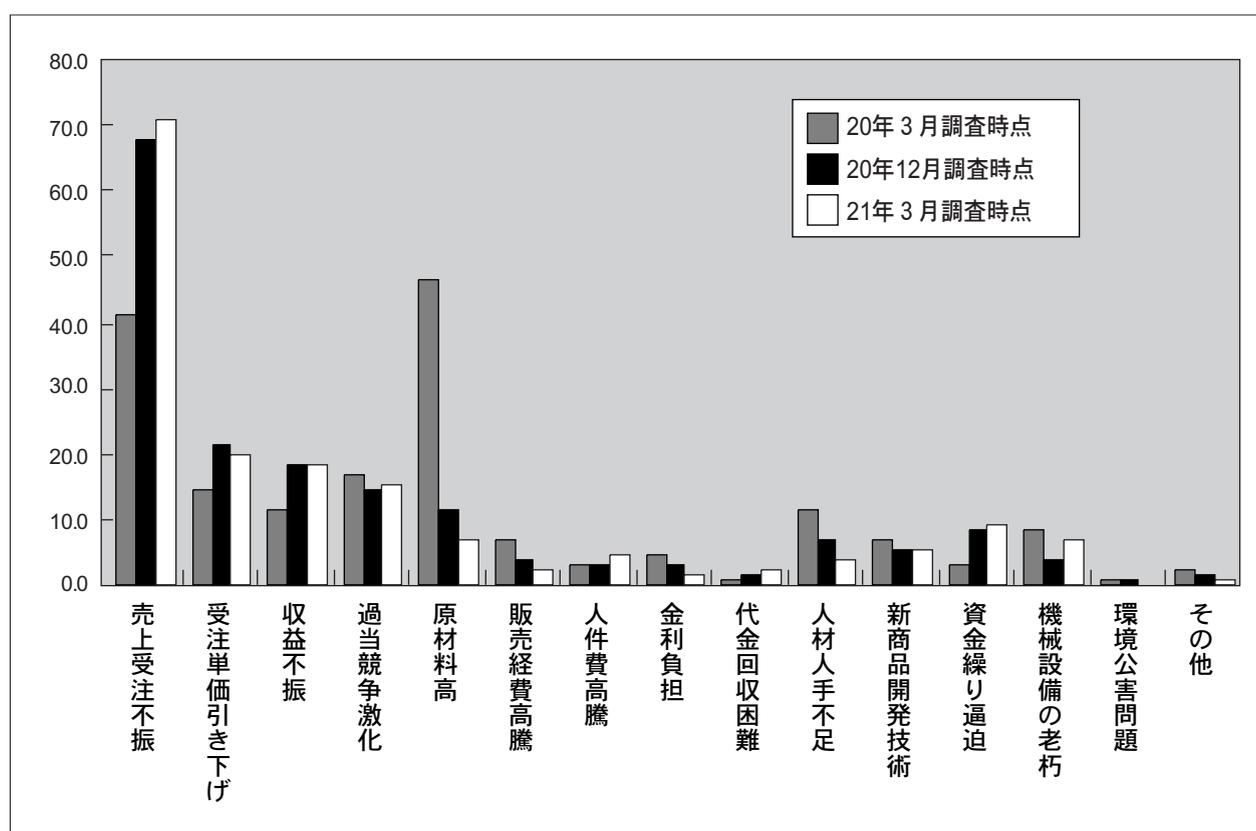


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業について1～3月の採用は全産業で減少となった。特に、製造業の採用実績は15%と大幅に減少している。4～6月見込みでも24.3%と前年同期に比べ、約50%と減少予想となっている。製造業の、4～6月見込は今期に比べ増加となっている。

IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	20年3月 (前年)	20年12月 (前回)	21年3月 (今回)	21年3月 (今回)		前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	40.8	67.9	70.5	(73.7)	(67.7)	2.6
受注単価引き下げ	14.2	21.0	20.1	(20.4)	(19.9)	-0.9
収益不振	11.5	18.1	18.1	(18.6)	(17.7)	0.0
過当競争激化	16.7	14.3	15.6	(8.4)	(22.0)	1.3
原材料高	46.8	11.4	7.1	(7.2)	(7.0)	-4.3
販売経費高騰	6.6	3.5	2.3	(1.2)	(3.2)	-1.2
人件費高騰	2.7	3.2	4.5	(2.4)	(6.5)	1.3
金利負担	4.4	2.9	1.7	(1.2)	(2.2)	-1.2
代金回収困難	1.1	1.9	2.5	(1.2)	(3.8)	0.6
人材人手不足	11.5	6.7	3.7	(1.2)	(5.9)	-3.0
新商品開発技術	7.1	5.4	5.1	(10.2)	(0.5)	-0.3
資金繰り逼迫	3.3	8.6	9.1	(9.0)	(9.1)	0.5
機械設備の老朽	8.5	4.1	7.1	(5.0)	(8.6)	3.0
環境公害問題	1.1	0.6	0.0	(0.0)	(0.0)	-0.6
その他	2.2	1.9	0.8	(0.6)	(1.1)	-1.1



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振70.5%(前期比+2.6ポイント)、②受注単価引下げ20.1%(前期比▲0.9ポイント)③収益不振18.1(前期と同じ)の順になっている。
- (2) 今回調査でも、前期と同じ回答が上位となっている。非製造業では、過当競争激化を問題点とするポイントが高い。
- (3) 業種別では、金属製品製造、不動産が売上受注不振との回答が100%となった。受注単価引下げでは、アルミ製品製造が56.3%と高いポイントとなっている。